

第3回 藤沢市立学校通学区域見直し【北部】ワークショップ 開催結果について

- ・開催日時:2024年12月24日(火)午後1時~午後3時
- ・開催場所:湘南台市民センター 地下1階ホール
- ・ファシリテーター:徳田 太郎氏(NPO 法人日本ファシリテーション協会 フェロー)
- ・ワークショップ参加者:10人 見学者:3人 運営スタッフ:4人 合計17人

○当日配付資料

- ・別添のとおり

議事要旨

1. 開会

2. 第2回ワークショップの振り返り

第2回ワークショップで「区域見直しのポイント」と「区域見直し案の作成方法」で出された意見で、特に重要だと思う意見に「3点」「2点」「1点」を付けた結果と、通学区域見直し案作成に当たり前提とした考え方について、事務局から説明した。

質疑応答

(質問)

慣例学区について教えてほしい。

(回答)

希望によって本来の学校とは別の学校に行くことが認められている特定の区域のことである。例えばもともとあった学校と学校の間に新たに学校ができたことで、新しい学校を選んでほしい場合や、交通安全の面で隣の学区に通うことが認められる特定の区域が慣例学区である。

3. 「区域見直し案 ver.1」について

区域見直し案は個別にお渡しする予定はないこと、ホームページに掲載する予定はないことを説明した。ある程度、案が固まった段階で公開するまで、撮影しないようにご協力いただくことをお願いした。

資料に沿って事務局から説明した。

- ・「区域見直し案 ver.1」の〈安全性〉について、各グループで話し合った。

各人に3枚ずつシールを配り、各グループで出された意見の中で、特に重要だと思う意見に「共感シール」を貼った。シールを貼った結果は、別紙第3回通学区域見直し北部ワークショップグループワークで出された意見一覧のとおり。

・「区域見直し案 ver.1」の〈自治会との関係〉について、各グループで話し合った。

各人に3枚ずつシールを配り、各グループで出された意見の中で、特に重要だと思う意見に「共感シール」を貼った。シールを貼った結果は、別紙第3回通学区域見直し北部ワークショップグループワークで出された意見一覧のとおり。

質疑応答

(質問)

該当する地区の自治会長や関係する主要なステークホルダーといった方をお呼びした方が、のちのち問題がないのではないかと思うが。

(回答)

学区案決まったときにどのように周知するかということも決まっておらず、また学区案についてまだ学校の意見も聞いていない。おっしゃるとおり、関係者の方に、児童の保護者や未就学児の保護者の方なども含めて、ある程度案が固まった段階で広く公募するなどして意見を伺うようにしたい。

(質問)

自治会が色分けしてあるのはわかりやすくよかった。自治会がどこの行政区割りが分かればよいと思う。

(回答)

次回のワークショップでは、13地区の行政区割りが分かるような表示をした地図を用意したい。

今後の進め方について次のとおり事務局から説明を行った。

北部の案では4カ所の変更見込みだが、南部は21カ所の変更見込みがあり、北部は南部ほど時間がかからないのではないかと考えている。現在の取組は2040年時点を想定して行っているものであり、北部の通学区域だけ先に決まったときに、北部だけ先にアナウンスして導入するのは難しい。北部と南部を分けて話を進めているが、新たな通学区域を導入する時期は南部と合わせた方がいいのではないかと考えているところであるが、どうするかはまだ決まっていない。ワークショップで案が固まったときに、みなさんの意見を伺って決めたいと思っている。

藤沢市立学校適正規模・適正配置第Ⅰ期実施計画に基づき、令和 6 年度から令和 10 年度の取り組みなので、令和 10 年度には南部と北部で新しい学区が導入されていることが目標である。新しい学区が決まったら、パブリックコメントや、市民の方に周知して、導入時期を決めたいと思っている。

4. 今後の開催見込みについて

令和 7 年 4 月に通学区域検討委員会を開催予定であることを説明した。

通学区域検討委員会開催以降の 5 月ごろに、ワークショップを開催する予定であることと、開催日数日前に改めて事務局から出欠の連絡をする旨を説明した。

以 上